

教育現場の

改善・改革について



● 城幸太郎 議員

2020年度から小学校5・6年生では英語の教科化、3・4年生では外国語活動がスタートし、授業時間が年間35コマ純増するが、現在の時間割に純増した授業時間を入れる余裕はあるのか。また、英語指導力の向上のための対策はとっているのか。また、教育現場は多忙で、持ち帰り残業まで発生している状況の中、教育委員会のバックアップが必須だと考えるがどうか。

答

英語の教科化に伴う授業時間増への対応については、文部科学省が3通りの案を公表しているが、いずれも一長一短があるため、国や県、他市町の状況を踏まえ検討するとともに、児童等の負担とならないよう慎重に決定したい。また、指導力の向上については、県教育委員会主催の研修会への参加のほか、市独自の研修会を開催しており、今後も積極的に環境整備に努めたい。

都市整備

大村ICの高速バス停車場 周辺整備について



● 小林史政 議員

高速バス停と下にある駐車場との間の傾斜は、急こう配で階段の幅も狭く、手すり等の老朽化も著しいため、高齢者や障がい者に限らず健常者の利用も非常に危険な状況である。すぐにもNEXCO西日本に整備を働きかけるべきと考えるがどうか。また、駐車場に市内の案内板や誘導掲示板を整備することはできないか尋ねる。

答

NEXCO西日本に確認したところ、手すりの塗装等については、ゴールデンウィークまでに実施するとの回答があった。また、新たな高速バス停を新大村駅前を整備することについては、高速バスの速達性や高齢者等の利便性を踏まえ、前向きに対応したい。また、現在、案内板等については、市所有の高速バス停横のトイレや電話ボックスの隣に設置しているが、わかりにくいと認識しているため、NEXCO西日本等と協議し、対応したい。

都市整備行政について



● 朝長英美 議員

未舗装の市道はどのくらいあるのか。また、PTA要望と地区要望のすり合わせは行っているのか。また、新幹線新駅のパース図について、作成に要した費用と、実現性はあるのか。また、大村駅前原口線の実現可能性と、整備に係る費用はどれぐらいと考えているのか。また、新駅周辺の整備は他市より進んでいるのか。

答

未舗装の市道は1%である。また、PTA要望と地区要望に関しては、庁内での連携を十分にやっていきたい。また、新幹線新駅のパース図作成には、約20万円要しており、現時点で何%実現できるかは説明できない。また、大村駅前原口線については、未整備区間の約3キロの整備費を概算で約70億円と見込んでいる。また、新駅周辺整備については、諫早市と比べ、遅れていると思う。

新幹線の地元対策は？



● 村上信行 議員

三城町柴田地区、鉄道・運輸機構、大村市による第7回の地元対策協議会が開催され、さらに、集中的に開催された専門部会では、自転車道、市道付替道路などについて協議され、4年ほどを費やし、ようやく地元の一定の理解を得られるところまでたどり着いた。市長は、地元が費やした4年間と知恵をどう思っているのか。また、市は、これまでの協議内容を踏まえ、住民の声をどのように受け止めているのか。無事故で工事を完了するべきである。

答

柴田地区新幹線対策協議会においては、机上の計画では把握できない部分について、地元の意見や、地域の実態をお聞きするなど、ご協力をいただき、大変感謝している。時間を要しているが、大変意義のある協議会であると考えている。また、地域からの要望等については、調査、協議等を行いながら、課題解決に向けて努力するとともに、工事に関する安全対策などについても、引き続き協議したい。